

第2学年 家庭科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕</p> <p>(2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕</p> <p>(3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕</p>
教科書	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して（東京書籍）
副教材	プリント 刺し子の防災お守りポーチ 基礎縫い練習教材

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解するとともに、それらに係る技能を身に付けている。	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期・小テスト等 ・ パフォーマンス（技能）テスト ・ 授業の様子や発言内容 ・ 指導に対する成果物（レポート、作品等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期・小テスト等 ・ 授業の様子や発言内容 ・ 指導に対する成果物（レポート、作品等） ・ 振り返り（自己・相互評価） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の様子や発言内容 ・ 指導に対する成果物（レポート、作品等） ・ 振り返り（自己・相互評価）

3 学習についてのアドバイス

学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習課題等を捉え、自分なりの問いを持ち、解決する方法を工夫しましょう。 ・ 先生の指示や友達の発言をしっかりと聞きましょう。 ・ 目的や対象等を意識して、伝わるように話したり、文章を書いたりするようにしましょう。 ・ プリントは、工夫してまとめるとともに、自分の考えや気付いたことなども書き込みましょう。
家 庭	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書等を参考にして、何を学習するのか、自分はどのように考えるのかを整理しましょう。 ・ 学習したことを、家庭で実践してみましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

時間	主な単元・教材等	主な学習目標
4・5	3編1章 衣服の選択と手入れ	①衣服の役割 ・衣服の社会生活上の働きについて理解できる。
		②私らしさと T.P.O. ー着方の工夫ー ・目的に応じた着方を踏まえ、自分らしい着方を工夫できる。
		③日本の衣服の文化 ・日本の衣服の文化を理解し、継承する大切さに気付くことができる。 ・和服と洋服の構成や着方の違いについて理解できる。
		④衣服の手入れ1（衣服の補習） ・衣服の材料や状態に応じた手入れ（補修）ができる。
		⑤衣服の手入れ2（衣服の洗濯と保管） ・衣服の材料や状態に応じた手入れ（洗濯と保管）ができる。
		⑥衣服計画と必要な衣服の選択 ・既制服の選択と購入のために必要な情報について理解できる。 ・目的に応じた購入方法を考え、表示を読み取って適切に選択できる。
6・7	豊かにするために 3編2章 生活を	①作って楽しい布作品 ・製作に適した材料や縫い方、用具の安全な取り扱い方について理解できる。 ・資源や環境に配慮して布を用いた物の製作計画を考え、工夫して製作できる。
1	可能な衣生活 3編3章 持続	①持続可能な衣生活を目指して ・持続可能な衣生活を目指して、課題とその解決方法を考え、衣生活を工夫できる。
8	4編1章 住まいの役割と安全な住まい方	①住まいの役割 ・住まいの基本的な役割と、家族の生活と住空間の関わりについて理解できる。
		②住まいと気候風土の関わり ・日本の住まいの特徴や病と気候風土の関わりについて理解できる。
		③健康で快適な室内環境 ・健康で快適な室内環境について理解できる。 ・健康で快適な室内環境について考え、整え方を工夫できる。
		④家族の住まいを安全・安心に ・家庭内事故の危険性について理解できる。 ・家庭内事故の予防や対策を考え、家族が安全に暮らせるように工夫できる。
		⑤災害への対策 ・自分の住む地域の災害の危険物について理解できる。 ・地震など災害への備えについて考え、対策を工夫できる。
	可能な住生活 4編2章 持続	①持続可能な住生活を目指して ・持続可能な住生活を目指して課題とその解決方法を考え、住生活を工夫できる。

